校長ブログ No.11	つながり	2024年7月17日 発行者 大阪市立田辺中学校 校長　井寄　芳春

立ち止まること

梅雨明けが待たれる季節となりました。本格的な夏の到来です。引き続き、水分補給や睡眠時間の確保等、万全な熱中症対策、健康管理にこころがけてください。

さて、本校、北館の一階の廊下に、縦150㎝、横90㎝ほどの、大きな鏡があります。この鏡の下の方には、「昭和61年度第38期生卒業生寄贈」と書かれています

この大きな鏡のことを「姿見」といいます。「姿見」は、国語の辞書（広辞苑）によりますと、「身なりを整えるために全身をうつす大形の鏡」とあります。姿見の前に立つと、足のつま先から顔まで、全身の姿が映ります。本校の姿見も、昭和、平成、令和に渡り、多くの人々を映してきたことでしょう。

姿見の前で、まず、私たちがすることは、「立ち止まること」です。次に、鏡に映った自分の姿を眺めます。そして、身なりを整えます。このように、「立ち止まり、眺め、整えること」を姿見の前で行っています。

この「立ち止まる」という行為がとても大切だと思います。全校集会でお話してきた、整えることも、振り返ることも、いったん立ち止まらなければなりません。立ち止まることや今の行動をいったん止めることは、私たちの安全や危険から避けるためにも重要です。

いくつか例をあげたいと思います。例えば、大きな道路を横断するときには、青信号でも立ち止まって左右を見て、安全を確認することが大切です。また、SNSでの失敗を避けるために、作成した文章をすぐに送信するのではなく、本当に送っていいか、立ち止まって見直します。

いったん止まること、また、いったん止めることで、冷静に判断するゆとりが生まれ、適切な行動につながりやすくなるでしょう。立ち止まって考え、判断することは、私たちが正しく前に進んでいくことや生活をよりよくしていくためにも重要だと思います。

もうすぐ夏休みが始まろうとしています。夏休みは比較的自由になる時間が増えてきます。危険なことを避け、楽しく、充実した夏休みにしていくためにも、短い時間であっても、姿見を前にした時のように、少し立ち止まり、整え、振り返る時間を大切にしてほしいと思います。

※全校集会での講話の内容に加筆・修正しています。